2017 年 6 月 20 日発行

Keio University

東村山三田会 Vol.6

発行人：松田　博　編集人：東村山三田会会報編集委員会

第３回定期総会を終えて　　会長　松田　　博

春たけなわの時節のなか、平成２９年４月１５日（土）に、東村山三田会第３回定期総会を、多数の会員の方々に参加をいただき、又、近隣三田会からも各会長さんに祝福にはせ参じていただき、無事終える事が出来ました。

東村山三田会は、会を結成して４年目に入りました。これは何をおいても会員の皆様のご協力あってのこと、感謝申し上げる次第です。

創設当時を振り返ってみますと、随分定着した感を得ております。年間３大行事である定期総会、忘年会、講演会、それに加え年間３回に分けての誕生会の実施、そして会員皆さんの趣味の集まりである同好会の盛んな活動等、会においての楽しみも多くなってきており、同時に会員間での懇親も深められていると喜んでおります。会の運用においても、役員の方達の尽力は素晴らしく、そこには強力な結束力が示されており、有難く思っています。

会は年数を重ねてきますと、運用に対し少々の改善すべき部分が見えてきます。それは一般的にも云える事ですが、運用している間に当初の事柄が、走り出している間に会に即した方法やそのあり方そしてその妥当性の問題などが見えてくるという事で、東村山三田会でも、第３回定期総会で２，３点提案し、賛同を得ました。その一つに会則第１５条（会費）の条項があります。改訂内容に関しては、総会資料をご一読いた

だくことにし、その目的は、未入会の方々が入会し易くする事、高齢者の方々の処遇を良くする事です。

今年度は、今まで以上に横の連携、情報の交換等の必要性を認識しながら、そしてそれらに気を配りながら、会の活性化に向け邁進していく事を考えています。

同時に、近隣三田会との交流も定着してきており、東村山三田会の存在、そしてあり方について、良い認識を持っていただけるようになりました。そうした状況をふまえ、近隣三田会とのいろんな事柄を捉え collaboration を行っていく。

これらは重要なことで、視野が広がり、いろんな面で勉強にもなり楽しみも増す、一挙両得と言えます。

最後になりましたが、五年先、十年先を見据え、東村山三田会のさらなる充実に向け、会員の皆様のさらなるご協力ご支援をお願い申し上げます。

第２回講演会　　斉藤　忠義

昨年に引き続き、多摩六都科学館高柳雄一館長にお願いし、「地球史でみる気候変動と日本列島地震帯の形成」というテーマでの講演を行っていただきました。

近年、北極の氷が解け、北極グマが絶滅するのではとか、海面水位の上昇により、太平洋の島国が無くなるのではという心配をするようになりました。東日本大震災の余震が未だにある現在、御嶽山の爆発や熊本大地震が発生し、政府も首都直下地震や東南海大地震は今後３０年で７０％の確率で起こると注意喚起しており、今日起きてもおかしくないという恐怖心があります。今回のテーマは、地球の歴史４６億年でみた場合の気候変動及び日本列島地震帯がどう形成されたかの講演でした。地球の歴史上、氷河期は３，４回あり、現在

は氷河期の終わり、もしくは間氷期であるという解説に驚きました。人が１００年生きたとしても地球の一生を１年とすれば、人の一生は１秒弱程度であり、直近の変化だけ捉えても意味はないようです。

地球の気象は、地軸の歪みとか太陽の黒点の変化とかさまざまな要因が重なって変化するものであり、植物が酸素を発生させるのは汚染とも言え、多すぎても問題が起きると言うのです。火山活動も地球の凍結を防いでいるとも言えるのだそうです。トランプ氏が気候変動枠組条約脱退を示唆しているが、４６億年の気候変動の流れから見れば大した影響はないと踏んでいるのでしょうか？

講演内容を理解するのが難しかったのですが、超長期のスパンで考えると人間か絶滅しても何ら不思議ではないことなのだと気づきました。

市民の皆様や近隣三田会、稲門会の皆様が多数ご参加頂きましたことをご報告いたします。

「第５回誕生会」が開催されました

岡崎　尋幸

日時　2 月 18 日(土)　17:30～20:00
場所　本町一丁目　和食麺処　『サガミ』会費　4,000 円
参加者　誕生月が 3,6,9,12 月の会員 9 名、他に役員 6 名の計 15 名

紿田副会長の司会で会長挨拶、続いて乾杯。直ぐいつもの和やかな歓談が始まりました。

５回目の誕生会、大分こなれて来た感じです。ホームページや会報に都度紹介記事が載りますし、参加２回目の会員もおられ、この場を積極的に楽しもうという雰囲気が伝わってきます。斯くありたいものです。

勿論今回が初参加の方はおられますが、当初の固さが解れれば皆同じ。挨拶替わりの自己紹介を兼ねて、塾時代の思い出や近況などを手短じかに披露していただきますが、それがまた酒の肴になります。

やがて座が乱れ始め、幾つかの小さな車座となってまた盛り上り、時間は直ぐ経ってしまいます。一通り酒も入り程好く出来上がったところで、プレゼンターの朝木役員から一人ひとりに花の贈呈があり、記念写真を撮ってお開きとなりました。さて、皆さんがどんなことを言われたか、その一端を紹介します。(　)内は外野席の声。

Ａ さん ： 日吉に８年通った。サッカー一筋に打ち込んだ８年だった。(青春に悔いなし!)

B さん ：介護勤務を終えて駆けつけた。同好会は幾つか掛け持ちしている。(ご苦労さまです。ありがとうございます)

C さん ：ある同好会の世話役をやっており、近況でしっかり同好会を PR。(熱心に入会の勧誘もしました)

D さん ：健康寿命を意識。ウォーキングに関心あり。０．８M/S(２．９K/H)で歩けるかが大事なポイントとなるそうです。また、D さん自身は１２キロを１時間半で歩くそうです。(時速８キロで歩くとは、驚異の脚力)

E さん ：都合で東京と四国を行ったり来たりされている。趣味のゴルフは年に２５～３０回。現地では飯付で５，７００円だとか。(今年古稀だそうですが、全くそう見えません)

F さん ：老人会の世話役をされている。平均年齢は８０数歳。会の中では若手の部類で、子供扱いだそうです。(高齢化社会の一つの現実。お疲れさまです)

G さん ：テニス、中でもソフトテニスが得意。本日は大会出場を済ませ急ぎ来られた由、成績は準優勝だったそうです。(誕生会が気になって集中できなかったためか?残念ながら同好会にテニスは無い)

H さん ：大学最後の慶早戦、優勝が思い出の一つ。経済は右肩上がりのよき時代であった。介護は他人事ではない。なるべく世話を掛けないように生きようと思う。先般、運転免許更新の折テストを受けた(受けさせられた)ところ、９０点で自信を持ったとのこと。(さすがの一言です)

因みに、H さんが卒業の年に A さんが誕生されました。

こんな世代を超えて交流が出来るのも同窓会ならではです。※色々な話が飛び交う中、発言の幾つかを拾って紹介しましたが、いつの間にか世話係であることを忘れて、一緒になって酒を飲んでおりました。正確さを欠いておりましたらご容赦ください。当三田会が設立されて丸３年が過ぎ、総会や忘年会を通してお互い顔と名前が一致するようになってはきたものの、それ以上のことは無い現状に幾分物足りなさを感じている方がおられるかも知れません。

誕生会はある面で食事会であり、飲み会であり、雑談会でありますが、人数を抑えた分中身の濃い交流の場であり、そんな気分を補ってくれる格好の機会です。ご覧の通りの気軽な集いで、毎回メンバーは少しずつ入れ替わります。たまたま他の用事と重なるとか、当日体調不良等で参加しそびれた方にとって、次の機会は１年後になってしまいます。そのような時は、直後の誕生会に飛び入り参加していただいて構いません。個別の案内は特にはいたしませんが、然るべく手配しますので、身近の役員にご連絡ください。大歓迎です。

同好会通信♪

☆ボウリング同好会☆

田中　康之（１５名）

【世話役　紿田俊哉（S43 年卒）　連絡先　t.taida-vn@i.softbank.jp　TEL　090-6540-3927】

ボーリング同好会には、当会会員１１名、会員の奥様３名、西東京三田会高橋幹事長の合計１５名が参加しています。毎月１回、平日に、久米川駅周辺で１１時半から昼食をとり、１３時頃から久米川ボウルで２ゲームを楽しんでいます。

昼食会は､久米川駅周辺のおいしいお店をチョイスして、すし、天ぷら、焼き肉、そば、定食などと、毎回、おいしい料理と楽しい会話で過ごしています。どうかすると、ボーリングの集まりということを忘れて､「ランチの会」と思ってしまうほどの盛り上がりです。

ボーリングは、１００点で大喜びする方がいる一方、１３０点でまずまずと満足している方、１５０点でも不満の方など、様々なレベルの方が参加しています。どんなレベルの方でも楽しめるのがボーリングで、１００点取れなくても、スペア１回、ストライク１回で、大満足、気分がすっきりします。まぐれでもストライクが続けばお祭り騒ぎです。

ボーリングは、昔の大ブームほどではないものの、手軽なゲーム、スポーツとして定着しているようです。平日は比較的すいていますが、春休み、夏休みなど学校が休みの日は、平日でも若い人や小さい子でにぎわっています。

２ゲーム位が私たちの年代にはちょうどよい運動になりますので、無理せず、ちょっとむきになりつつ楽しんでいます。初心者から上級者まで、興味のある方は、ぜひ参加してみませんか。ボーリングはやったことが無いという方でも楽しめるゲームです。２００点突破はまだ出ていませんので、腕に覚えのある方は挑戦してください。

毎月の予定は、三田会ホームページに掲載しています。昼食会だけの参加も大歓迎ですので、世話人の紿田さんまでご連絡ください。

☆あるいて三田会東村山☆　　藤田　和之　（１５名）

【世話役　藤田和之（S46 年卒）kazuyuki_fujita@hotmail.com　携帯　090-2549-6781 】

２０１７年第一回は「新春東久留米七福神めぐりと沢頭（さがしら）湧水群」をテーマに開催致しました。

２月２６日の日曜日、９：３０分に東久留米駅改札口を出たところで集合。

今回は女性３名と男性６名の９名の方が参加されました。

先ずは東久留米駅の富士見テラスから富士山を楽しんでの幕開け。空気も澄んで富士山がくっきりと見えました。

それでは七福神めぐり開始。

多聞寺で御朱印帳が貰えるとの情報を聞きこんだので早

速ルート変更。

先ず落合川沿いに南沢水辺公園を散策しつつ、多聞寺（毘沙門天）を参詣。最初に御朱印用のりっぱな色紙を頂き、毘沙門天の御朱印を頂戴いたしました。この御朱印ですが色紙に御朱印と社の印、日付を揮毫？頂くので一枚一枚、けっこう時間が掛かります。ツアコン（筆者）が９名分まとめてお願いしたので、待つこと暫し。その間、皆様は境内などを散策。

有名な撮影ポイント

続いては落合川を遡って沢頭湧水を散策。落ち葉が積もって余り手が入っていない感じ。沢頭湧水は湧水量が１万トン／日とのこと。時間当たり一升瓶が２３万本分！？本当？

まだ２月なのに歩くと汗ばむ位の良い天気。

更に市街地を抜け、米津寺で布袋尊の御朱印を頂きました。９名分でまた待つこと暫し。

続いては大圓寺。ここで一気に寿老尊、福禄寿尊、恵比寿尊の３神様をゲット。それなりに皆様にはお待ち頂く事と成ってしまいました。

今度は黒目川を眺めながらウォーキング。黒目川の支流の出水川は東村山に水源があるようです。そして宝泉寺で弁財天の御朱印を頂戴しました。金運と才運が授かります様に！

七つめの大黒天は東久留米駅からほど近い浄牧院。ですが既に正午はとっくに過ぎています。ツアコンもお腹は減るし気は焦るし、何とか待つこと、もう暫し。無事に皆様の御朱印を全て頂戴できました。

最後は駅前でランチ。次回テーマなど楽しく盛り上がりました。

なお、東久留米七福神の御朱印は一体当たり３００円、つまり七福神で２，１００円です。

天気も良く、富士山もくっきり見えたし、無事に約９Ｋｍのツアーも完了できたので「ごりやく」は有ったかと・・・・。

今後一年の「ごりやく」につきましては、乞うご期待？

☆食べあるくかい？（グルメの会）☆　熊谷　正美（２０名）

【世話役　櫻井正廣（S46 年卒）　連絡先　msgemini30@gmail.com　TEL　090-1767-1617】

平成２９年３月２４日（金）午後６時より「うな正　秋津店」にて開催、参加は紿田副会長ご夫妻・澤田ご夫妻・清水ご夫妻・加藤副会長・櫻井監査役・田中会計役員・廣田委員・朝木委員・最年少平成２１年卆神尾さん・熊谷夫婦の１４名（斉藤幹事長は長いモノが苦手とのことで不参加）でした。

私の愛する懐石料理に加え大好物の「うなぎ」となりますと、いても立ってもいられない状態になり待ち時間で多

少イレコミ気味でした。懐石料理としてはアルコール抜きで６千円での設定と聞いておりましたので、東久留米「川松」・滝山「なべしま」本町「うな正」等と比較して安価であった事から味・質に若干不安を覚えておりました。

いざ懐石料理が始まりますと前菜の小鉢３点、酢の物（蟹・海老・蛸・胡瓜）、お刺身(鮪・帆立・海老・鮭)、天婦羅（蟹・海老・椎茸・茄子・獅子唐・薩摩芋）、煮烏賊等を美味しくいただいた段階で、満腹状態でした。

大盛り上がりの女性陣や私の周りの男性陣も前菜を賢く控えめにしている方が多く、全て完食の私は食べ過ぎ感を持ちました。（初めての方は要注意です）

お酒は父親の愛飲していた秋田の「高清水」で辛口・芳醇な味はお料理と良く合い、運んでくれる美人女将と共に引き立たせてくれました。

さてメインの「肝吸い付きうな丼」は、ふっくらと焼き上がっており味付けも癖がなくリーズナブル（男性はお酒込み８千円）で、満足できるものでした。

個人としての反省点は、オーバーペースになってしまった点で天婦羅等は箸を付けずにいた方が良かったかなと感じました。

アクセスとしてはＪＲ武蔵野線新秋津駅、西武池袋線秋津駅から徒歩で６～７分ですし、西武新宿線久米川駅からのバスもあり便利で、駐車場完備のお店でした。

ご案内いただきました櫻井監査役初め参加された皆様に感謝致します。

☆俳句同好会☆　塚本　洋子　（９名）

【世話役　佐藤嘉江子（S57 年卒）　連絡先 kae_ztjjz@yahoo.co.jp　TEL　090-1734-7582】

「羅（うすもの）や人悲します恋をして」（鈴木真砂女）

この句は私が俳句をやってみたいと思うきっかけとなった句です。

それまで私は俳句というと「わびさび」の世界で、昔短歌を少しやっていた私には合わないと思い込んでいました。

ところが冒頭の句を含む「紫木蓮」という句集を読んで私の俳句に対する観念が変わりました。俳句も短歌と同じように恋が詠めるのだと「目からうろこ」の思いでした。

俳句同好会に入って２年になりますが、ネタがないせいか、私の力が及ばないせいか未だ素晴らしい恋の句はできていません。

句会は月に１回、土曜日か日曜日に開催され決まった題１句と自由句２句を持っていくことになっています。１か月もあるのに私などは句会の１週間前位から歳時記を開いてなんとか３句そろうのは句会の朝だったりします。それでも句会は楽しいです。句歴の長い方が、初心者がほとんどの他のメンバーの暴走を押さえてくれますし、{ああでもない。こうでもない} と遠慮なく言えるのが楽しいです。

そして何よりも美しい季語から日本語の美しさを改めて感じることができます。今すこしでも俳句をやってみたいと思われたあなた、あなたのご参加をこころからお待ちしております。

巻き貝や時は静かに積りけり	丸女	ひとり居て胃の腑の底の寒さかな	洋子
春来たり米研ぐ水の柔らかに	弦六	水温み岸辺の古木宴待つ	凡水
水温む沢の飛び石胸躍る	栗丸	おだやかな光一閃氷柱落つ	岳徒
人も葉も丸まって枯る冬夕焼け	かえる	初詣みくじにふたり苦笑ひ	蓑

☆慶美会(スケッチ同好会) ☆　細川　晃（７名）

【世話役　清水英男（S38 年卒）　連絡先　hidshim@jt.ejnet.ne.jp　TEL　090-2655-9231】

夏の足音が、「少し早すぎませんか？」と思う今日この頃です。

前回の原稿執筆依頼からも１年経ちましたが、スケッチのスキルは、まだまだですが。

今年になってからは、中央公民館にて、素敵な女性のデッサンと航空公園にてスケッチを行いました。スケッチ及び定例の東村山駅近くの焼鳥屋で一杯？の定番コースでは、美味しいお酒や豆腐料理を楽しみながら、スケッチや絵画という共通の関心事を中心に楽しい一時を過ごしています。

慶美会の進め方の形が一定しているので、皆が安心して、楽しめるのかと思います。

振返ってみると、私のスケッチは進歩しているのでしょうか？

今日、たまたまＴＶを点けると『松下奈緒 光の画家モネと旅するセーヌ』という番組がありました。モネは、皆さんも一度は眼にしたことあるかもしれません、「睡蓮」の画家です。モネは、浮世絵の影響も受けており、浮世絵のコレクターでも有名だそうです。松下奈緒は、綺麗で服装のセンスは良いなということは、ひとまず置いときまして、偉大な画家でさえ、初期は、認められず、苦しい時期もありました。それでも「私は鳥が歌うように絵を描きたい」と言っていたそうです。

２０１６年医師会美術展より

油彩　佐藤 辰弥

油彩　千保　潔

自分が描きたいものを描くことが大事なのですね。慶美会の主旨でもあります。

スケッチを初めて、又、諸先輩達のお話を聞かせて頂くことにより、今まで観ていたけど、観てなかったものが観えるようになってきました。まだまだ、「モネの眼」の足元にも及びませんが、楽しんでおります。

私も初心者として、スケッチを始め、色については、水彩色鉛筆を使っております。是非、興味ある方は、参加してみたら、如何でしょうか？　何か発見できるかもしれません。

☆麻雀同好会☆　飯塚　武彦（１６名）

【世話役　田中康之（Ｓ５２年卒）　連絡先　vvtanaka@m7.gyao.ne.jp　TEL　080-6739-0637】

月に一回の麻雀同好会には８から１２人ほどの参加があり、毎回２卓、３卓で楽しんでいます。また夏、冬にはプレー後の飲み会もあります。

ご存知のように、麻雀は一組４人で成立するので、最近は人数が足りないときは、所沢三田会から応援にきてもらうこともあります。場所は、東村山駅東口駅近くの「プララ」、久米川駅ちかくの「健康マージャン優」といったところです。

今年５月迄の優勝者は毎月替わっており、なかなか伯仲した戦いが、毎回展開されています。（下記の表）

実際、手練れのひとが多く、学生時代に親しみ、社会人になってからも楽しんできたひとが多いようです。

みなさん和気あいあいと、トークもたのしんでいるひと、もくもくと手作りをたのしんでいるひと、といった風に多士済々です。ほんとうに皆さんお上手です。

麻雀が好きといえば、小生も、三田の時代には昼ころ部室にいけば、好きな４人がそろったところで、幻の門のちかくにあった、【三色】にいそいそと向かったものです。

もう５０年もたのしんでいるなとおもいながら、今月も集合場所にむかっているかとおもいます。

毎月、きめ細かくアレンジしていただいている幹事の田中さんには、一同感謝しています。

最近の成績は下記のとおりです。

１月は慶早戦で、昨年に引き続き清水さんが連覇

開催月	１月	２月	３月	４月	５月
優勝者	清水	岡崎	朝倉	生田	飯塚
	慶早戦			所沢参戦	

☆カラオケ同好会☆　加藤　弘子　（２０名）

【世話役　加藤弘子（S39 年卒）　連絡先　朝木直子　azuchima@xc5.so-net.ne.jp　TEL 080-6739-0637】

会員は当初２０名いたのですが、転勤や仕事の都合、他のサークルと重なったりして出席者が少なくなりましたので、月２回から１回になりました。

主として土曜日１８時より東村山駅近くのビッグエコー（元シダックス）にてカラオケを楽しんでおります。

昨年、早稲田のカラオケ部の方々と一緒に歌合戦をいたしました。慶応側は早稲田の半数ほどの参加者で、圧倒される状況でしたが、演歌、ポップス、フォークなど歌い進むにつれ、和やかな雰囲気が充満し、大いに楽しむことができました。大好評につき６月にも第２回慶早戦を行います。

カラオケに興味のある方は健康のため腹の底から大声を出して歌いましょう。歌よりビールやピザやフライドポテトなどで宴を楽しみたい方も入会をお待ちしております。

☆ゴルフ同好会☆　河邊　喬　（１４名）

【世話役　河邊　喬（S42 年卒）　連絡先　tt.kawabe@jcom.home.ne.jp　TEL 090-7722-9436】

ゴルフ同好会　第４回コンペ開催（5/24 於立川国際 CC ）

新緑の５月。天気は曇り。前日の３０度近い猛暑を考えると最高のゴルフ日和でした。今回は会員の内田さんのホームコースの立川国際ＣＣで開催。朝７時に神尾さん車に便乗させてもらい出発。コースまで１時間程の近場。参加は当初８名でしたが、急遽１人の欠席で７名２組のコンペ開催。全員がスタートの１時間程前には集合。

さて、１組目が８時５６分にスタート。広がる芝生の絨毯の先に一段と色鮮やかなグリーン。微かに風に揺らぐピンを目指し、２打、３打でナイス・オン・・・をイメージするも４打、５打?！でやっとオン。

これもご愛敬。このコースは特にグリーンの難易度が高いと私は感じました。因みに私はこのグリーンの速さ・傾斜に完敗で、４パットが数回あり、戦意喪失。（これはご愛敬とは言えません。学習力の無さでしょうか）

今回の皆さんのスコアーは大体１００前後で拮抗していて、隠しホールのハンディ次第で誰が優勝するかは予測できない接戦でした。

そんな中、優勝を制したのは飛ばし屋の神尾さん。同組のメンバーとのドライバーの飛距離の差を嘆いていた廣田さんは前回同様の上位で３位。また、ベスグロにも関わらず５位となった小駒さんと悲喜こもごもでした。

競技後の打ち上げ会では今日一日の楽しい“れば・たら”の反省や今後の同好会のあり方等を話し合い、次回は１０月の初旬、平日の開催を約し解散。

（尚、７月か８月の土曜日に暑気払いの会を実施することも決定しました）

＜上位３位の成績＞

順 位	氏　名	グロス	ＨＤＣＰ	ネット	ニアピン
優 勝	神尾 常夫	１０１	２８．８	７２．２	OUT８/１４９y 内田光郷
２ 位	阿蘇 秀男	９９	２５．２	７３．８	
３ 位	廣田　進	１０３	２７．６	７５．４	

☆活動を予定している同好会☆

・護身術・健康運動同好会【世話役　佐野新太（H6 年卒）　連絡先 art-s313@ezweb.ne.jp】

ホームページと会報について

斉藤　忠義

三田会の全体行事（総会、忘年会、演奏会等）、同好会活動状況、会則、お知らせ等は、東村山三田会のホームページに掲載しております。（右側の写真がトップページです）

トップページから見たい項目をクリックしますと、そのページに移動し、記事や写真が見られます。

しかし、パソコンやスマホを持っていないとホームページは見られませんので、会報を年２回発行しています。

会報は､行事の責任者や同好会会員の投稿をそのまま掲載し、高品質な印刷で納品されています。

ホームページは、会員勧誘や他三田会会員へ宣伝的な意味合いもありますので、できるだけ迅速に掲載しています。同好会の記事や写真は、世話人からの情報提供で更新していますので、鮮度や情報量にバラつきがあります。

ホームページを開示して２年近くなりますが、平日は３，４人、土日で７，８人程度がアクセスしており、東村山市の方（殆どは会員）が閲覧数の７割を占めています。

トップページから「会報」をクリックすると今まで発行された会報を見ることが出来ますが、最新版は会報発送の２週間前に掲載していますので早く見たい方はご覧ください。

ところで、全世界で三田会は約４５０ありますが、ホームページがある三田会は１００未満だと思われます。

ＹａｈｏｏとかＧｏｏｇｌｅで「三田会」と検索しますと、「東村山三田会」は大体１０番目位に記載されています。一般的に三田会の閲覧数は少ないので、更新頻度が高い三田会は検索の上位に表示される傾向があります。ちなみに、ホームページのサーバー利用料は、月額３２４円です。

他の三田会では、ホームページの継続性を保つため、経営者の会員がスポンサーになって外部委託で制作するとか、専門的知識を持つ現役ＯＢが制作しています。

当会は、個人のスキルで自由に制作しているため、面白みはありますが、引き継ぎが難しく、早晩、スタンダードなホームページに再構築する必要があります。

ホームページのノウハウがある又はチャレンジしたい会員を探しています。

☆４月１日現在の総会員数　８９名

新入会員　２名

Ｓ４３商　木村　武志　Ｓ１２文　松江　佳子

会員通信　原稿募集！！

会員の皆様からの原稿や写真を募集致します。テーマは「塾、東村山」を始め、特に限定は致しません。掲載の可否は役員会で決定致します。誌面の都合上写真の取捨選択を含め若干の手直しをお任せ頂きたいと存じます。文字数は 200～400 程度で「氏名、卒年、学部」を添えて次の応募先に応募してください。

郵　送：〒189-0014　東村山市本町 3-9-10　東村山三田会　会員通信 原稿応募係　廣田眞一

メール： higasimurayama_mitakai@yahoo.co.jp

編集後記

当三田会は４年目を迎え、運営も安定してきました。同好会に新たに参加される方がいたり、世話役の交代があったり、日々変化進展しています。ホームページもそのスキルの高さが評判となり好評を博しています。会報編集部からのお願いですが、上記会員通信の他に、皆様の中には、長年続けられている趣味をお持ちの方がおられると思いますが、その趣味の活動内容について原稿をお寄せいただけませんか。長さは８００～１０００字程度までです。会報も進化していきたいと考えております。また、編集に興味のある方、ぜひ一緒にお手伝いいただけないでしょうか。気楽にお申し出いただければ大感謝です。今回も斉藤幹事長が編集参加してくれました。(H)

編集委員　廣田眞一・佐藤真和・稲葉光亮